

Manusスライド生成の 完全ガイド

効率的かつ高品質なビジネスプレゼンテーションの構築

Manusスライド生成とは

ManusはAIを活用し、テキスト指示からプロフェッショナルなスライドを自動生成します。単なるデザインの適用にとどまらず、論理的な構成の構築からデータの可視化までをワンストップで実現します。



一貫した実行

構成案の作成からデザイン適用まで、AIが一貫して実行。作業時間を大幅に短縮します。



データの可視化

Chart.jsを統合し、数値データから動的で美しいグラフを自動生成。説得力を高めます。



編集可能な出力

HTML形式で出力されるため、生成後の微調整やカスタマイズが容易に行えます。

スライド作成の基本ステップ

01

明確な指示（プロンプト）

目的、対象、枚数、トーンを具体的に指定します。AIが意図を正確に理解するための最も重要な工程です。

02

構成の確認

AIが提案するアウトラインをレビューします。論理構成や情報の過不足をこの段階でチェックします。

03

生成と調整

生成されたスライドの内容やビジュアルを微調整します。必要に応じてデータの追加や文言の修正を行います。

効果的なプロンプトの書き方

具体性が鍵

「～について教えて」ではなく「～のメリットを3点、ビジネス向けに解説して」と具体的に指示します。

コンテキストの提供

誰が、誰に対して、どのような場面で発表するのかを明記することで、AIは最適なトーンを選択します。

制約条件の指定

枚数、使用言語、特定のキーワード、色の指定など、守るべきルールを明確に伝えます。

不十分な例

「AIの将来についてのスライドを作って」

効果的な例

「製造業の経営層向けに、AI導入によるコスト削減のメリットを5枚のスライドで作成して。専門用語は避け、グラフを1つ含めてください。」

デザインカスタマイズのコツ

🎮 カラーパレットの指定

ブランドカラーや用途に合わせた配色をプロンプトで指定します。今回の「白・黒・グレー」のように、具体的であればあるほど意図に沿ったデザインが生成されます。

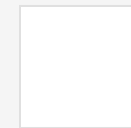
📌 視覚要素の戦略的活用

図解やアイコンを生成させるための具体的な構造を提示します。情報の優先順位を明確にすることで、AIは適切な視覚的強調を行います。

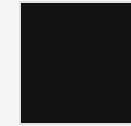
☰ 一貫性の維持

全スライドでフォント、余白、スタイルを統一するよう指示します。ビジネス資料としての信頼性を高めるためには、この一貫性が不可欠です。

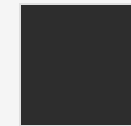
今回の配色スキーム例



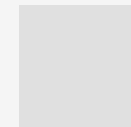
Background: #FFFFFF



Title/Text: #121212

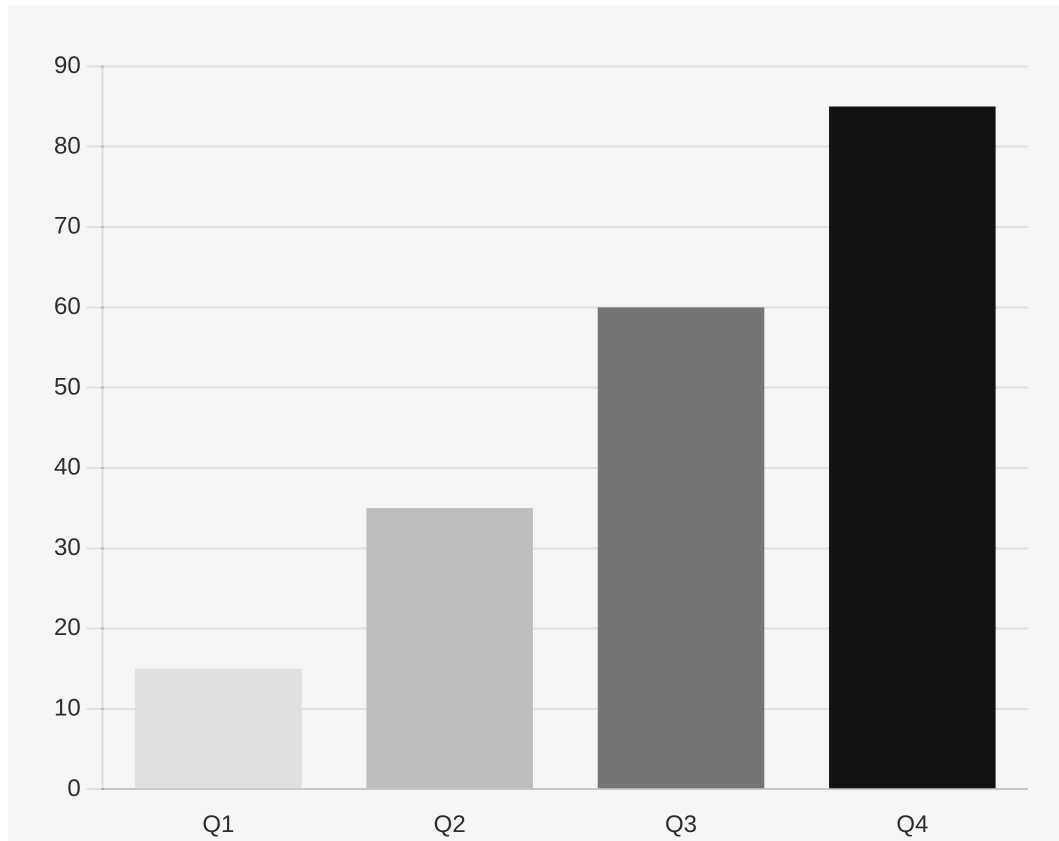


Body Text: #2D2D2D



Accent: #E0E0E0

データの可視化とグラフの活用



※Manusによる自動グラフ生成のイメージ（モノクローム階調）

📄 Chart.jsの統合

数値データを渡すことで、動的で美しいグラフを自動生成。ビジネス資料に不可欠な説得力を付与します。

📌 適切なグラフ選択

- ・推移：折れ線グラフ
- ・比較：棒グラフ
- ・構成比：円グラフ

AIに意図を伝えることで、最適な形式が選ばれます。

☰ 情報の整理

複雑なデータは表形式や箇条書きで整理して入力することで、生成精度が向上します。

注意点：情報の正確性と確認

⚠ ハルシネーションへの警戒

AIが事実と異なる情報を生成する可能性があるため、特に数値や固有名詞については必ずファクトチェックを行ってください。

🔄 最新情報の確認

AIの学習データには期限があるため、最新の統計データやニュース、法規制などは手動での補完が必要です。

🛡 機密情報の取り扱い

プロンプトに入力した情報はAIの学習に利用される可能性があるため、社外秘や個人情報の入力は避けてください。

推奨される確認フロー

- ✓ 一次ソース（公的機関や公式サイト）との照合
- ✓ 生成されたグラフの数値と元データの整合性確認
- ✓ 専門用語や文脈が業界標準に即しているかの確認
- ✓ 引用文献や参照URLのリンク切れ・内容の確認

注意点：デザインと枚数の制限

≡ 枚数制限の理解

標準的な生成では最大12枚程度が推奨されます。膨大な情報を1つのプロジェクトに詰め込むのではなく、必要に応じてセクションごとに分けて生成することを検討してください。

🗨️ 複雑な図解の限界

非常に複雑な独自の業務フローや多階層の組織図などは、AIによる一発生成が難しい場合があります。基本構造を生成させた後、手動での調整が必要になることを前提に計画してください。

🔄 トーンの一貫性チェック

自動生成の特性上、稀にスライド間で表現の粒度やデザインのトーンが微細に異なる場合があります。最終的な出力結果を通して確認し、違和感がある箇所はプロンプトで再調整を指示してください。

成功するためのチェックリスト

- ターゲットと目的は明確に定義されているか？
- プロンプトに具体的な構造や制約が含まれているか？
- 生成された内容の正確性は確認済みか？（ファクトチェック）
- デザインはブランドガイドラインや用途に沿っているか？
- 発表時間に対して適切な枚数と情報量になっているか？

Manusでプレゼンを 次のレベルへ

AIは単なるツールではなく、あなたの創造性を加速させる強力なパートナーです。

Manusを活用することで、資料作成の時間を戦略的な思考へと転換しましょう。

NEXT STEPS

- ＞ まずは小さなテーマから生成を試し、プロンプトのコツを掴む
- ＞ 既存の資料をManusでリデザインし、効率化を実感する
- ＞ チーム内でプロンプトのナレッジを共有し、組織全体の生産性を高める

Thank You.